

令和3年9月9日

令和3年度森林林業振興助成事業の選考結果について

(一財) 日本森林林業振興会
会長 沼田 正俊

一般財団法人日本森林林業振興会は、森林・林業の振興及び山村地域の活性化に寄与する優れた調査研究活動、技術開発、モデル的な取り組み等に対し、当該取り組み等に必要な経費の一部を助成する「森林林業振興助成事業」を実施しています。

第5回目となる令和3年度（令和3年7月～令和4年6月）の公募を実施したところ、新規3件、継続5件の計8件の応募がありました。それぞれの申請内容について、学識経験者を含む選考委員会を設置し厳正に審査を行った結果、下記事業を助成対象とすることが決定されましたので、お知らせします。

1. 令和3年度事業の新規採択

ドローンを活用した大苗造林による作業の低コスト化・省力化

《 日本造林協会、全国素材生産業協同組合連合会 》

造林保育作業の低コスト化・省力化を目的として、ドローンを活用した大苗造林により、苗木運搬の効率化、保育作業の軽減を図るとともに、獣害対策としての有効性を明らかにするほか、アシストスーツによる作業従事者の軽労化を含め、大苗造林の実践的モデルを提示する。

2. 既採択事業の継続実施

(1) 森林を活用した障害者・高齢者の保健休養及びレクリエーションの今後の展開方向に関する実証的調査事業

《 一般社団法人全国森林レクリエーション協会、特定非営利活動法人日本森林保健学会 》

障害者や高齢者による森林活用を目的として、現状の把握と課題を抽出し、今後の展開方向、効果的なプログラムの開発、支援人材の育成等を検討する。

(2) 積雪寒冷地域におけるスギコンテナ苗短期生産システム確立のための実証事業

《 一般財団法人地域森林整備集団 》

積雪寒冷地でのスギコンテナ苗の短期育成を実現するため、これまでの成果と検討課題を踏まえ、水耕栽培や新高機能肥料による成長促進試験等を実施するとともに、山出し後の生育状況を確認しつつ、スギコンテナ苗の短期生産技術の体系化を図る。

(3) 国産早生広葉樹の優良個体選抜技術の開発

～使う側が育てることを理解し、育てる側も使う側のニーズを考えて～

《 全国天然木化粧合単板工業協同組合連合会、九州大学大学院農学研究院、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター 》

木材利用価値が高く生産が期待される早生広葉樹（ユリノキ及びビチャンチン）について、優れた材質や高い生産量を確保する観点から、種子の生産性、さし木の発根性などの繁殖・増殖特性を考慮した、優良系統の選抜基準を作成する技術を開発する。

(4) 海外で森林保全を促進するための情報を公開するシステムの開発

《 公益財団法人国際緑化推進センター 》

地球温暖化防止対策やSDGsを踏まえた我が国の森林・林業分野における国際協力の推進に寄与するため、海外の森林と林業に関する各種文献を一元的に閲覧できる公開型データベースを構築し、海外での植林や森林造成等に関わる方々への双方向プラットフォームを提供する。

(5) 新たなりモートセンシング技術を用いた効率的な収穫調査と素材生産現場への活用方法の提案

《 国立研究開発法人森林研究・整備機構 》

レーザ計測やUAV等を活用した森林リモートセンシングについて、計測目的や対象森林の状況等に応じた最適かつ効果的な運用方法を提案するとともに、技術者向けのマニュアルを作成し、現場レベルでの資源把握および素材生産の効率化に寄与する。

問い合わせ先 (一財) 日本森林林業振興会
〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル6階
(一財) 日本森林林業振興会 坂井、千葉
TEL : 03-3816-2471
E-mail : kikakoubo17@center-green.or.jp